

日嶺而東南望之、三歎曰、吾孀者耶。孀此云菟摩故號山東諸國曰吾孀國也。

〔古事記中景行〕平河荒神等而還上幸時、到足柄之坂本。略故登立其坂三歎詔云、阿豆麻波夜、自

以下五字故號其國謂阿豆麻也。

〔古事記傳二十七〕號其國謂阿豆麻也。其國とは、細に云ば相模國を指て云るなり、彼弟橘比賣命

の亡坐しは相模國の海なればなり、然れども廣く云ときハ、此足柄山より東方なる諸國なり、

其國と云るは、必一國を指るがごとく、聞ゆめれども、書紀に、故因號山東諸國曰吾孀國と見えたる如く、古も今も泛く東方の國々をぞ、阿豆麻とは云なる。略書紀には、歷常陸至于甲斐國と

ありて、後に自甲斐北轉歷武藏上野西逮于碓日坂云々、進入信濃とあるは、路次順はず。略中さ

て彼御歎ありし地も、足柄と碓日と傳の異なる、此は何れか正しからむ、決めかねつ、上野國に

吾妻阿加豆末郡あるを見れば、碓日の方や正しからむ、凡て郡名などは大方いと古きことにて、

正しとするときは、此記に號其國謂阿豆麻とあるも、此吾妻郡によく當るべく、又下文に給東國造とあるも、此郡の地とすべし、然れども、此國造の事も、郡名の事も、足柄にしては又別に考

り、

利根郡

〔上野國志義利根郡〕當郡都テ沼田ト稱、蓋シ沼田氏ノ領スルニ依テナルベシ、在昔ハ滑田ト書シテ、

何ノ比ヨリカ沼田ニ書替シヤ、東鑑ニハ沼田トアリ、ナカ吳桃ハ村名猶存ス、

村落玖拾伍村、租入壹萬捌仟貳佰拾參石玖斗參升捌合、

〔日本後紀二十〕弘仁二年十月丙寅、上野國利根郡長野牧、賜三品葛原親王、

〔郡名考〕上野 勢多セタ エタ

勢多郡

〔上野國志信勢多郡〕村落百參拾漆村、租入伍萬漆仟陸佰肆拾參石壹斗漆升肆合、

〔續日本紀十七聖武〕天平勝寶元年閏五月癸丑、上野國勢多郡小領外從七位下上毛野朝臣足人略中授

從五位下、